

新しい幸せを、わかすこと。



News Release

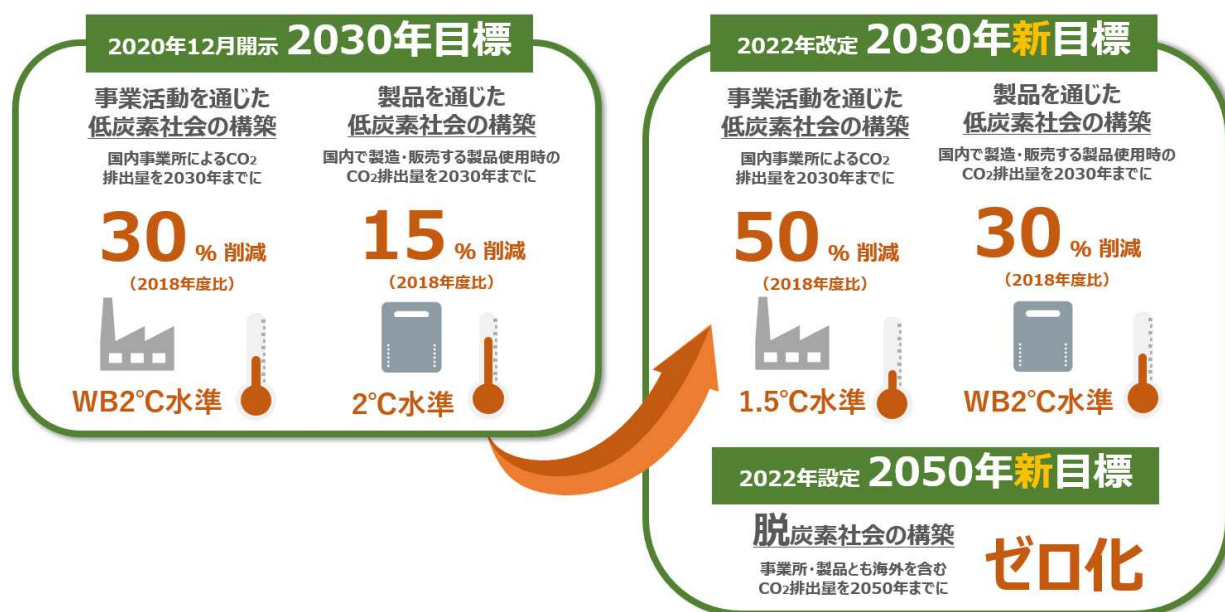
2022年2月14日

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて新目標を設定

～次世代型給湯機の開発や創エネ設備導入などでCO2削減を加速～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:腹巻知、資本金:201億円、東証一部上場)は、脱炭素社会実現に向け、2030年・2050年までのCO2削減目標を改定しました。

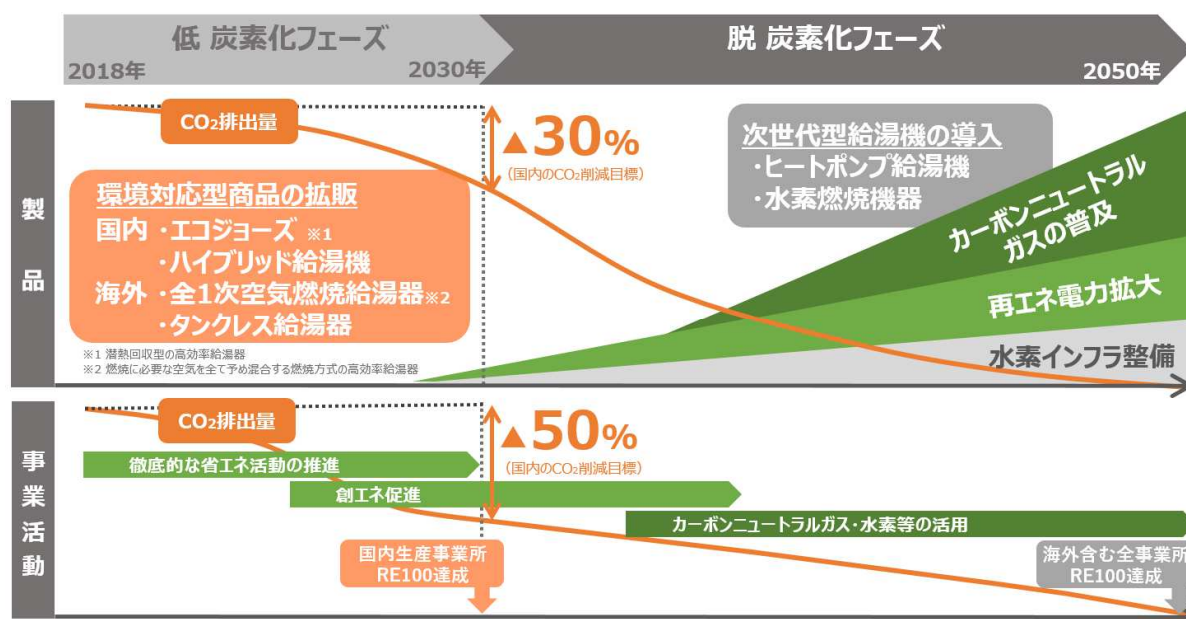
当社は2020年、パリ協定に整合した環境目標を公表しましたが、全世界での対応が加速し、日本政府が2050年のカーボンニュートラル実現の方針を打ち出したことを受け、この度、2030年までに国内事業所によるCO2排出量を50%削減(2018年比)、国内で製造・販売する製品使用時のCO2排出量を30%削減(2018年比)する新しい目標を掲げました。さらに、2050年には海外を含む事業所・製品による排出量を実質ゼロ化し、カーボンニュートラルの実現を目指します。



給湯で使用するエネルギーは、家庭全体で使用するエネルギーの29%を占めます。給湯機器を製造・販売する当社グループ(国内)の製品および事業活動により排出するCO2は約1,834万トンで、これは日本全体で排出されるCO2年間排出量約11.49億トンの1.6%に相当します。当社はガス・石油機器業界初のエコ・ファースト企業として、いち早く地球温暖化問題への対応に着手し、CO2削減に取り組んできました。CO2削減目標の改定により、次世代型給湯機の開発とカーボンニュートラルガスや水素等の活用を踏まえた対策など、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みをさらに加速させます。

脱炭素実現に向けたロードマップの策定

2050年のカーボンニュートラル実現にむけ、2030年までを「低炭素化フェーズ」、それ以降を「脱炭素化フェーズ」とし、環境対応型商品の拡販などを踏まえた製品供給と、RE100*達成などを踏まえた事業活動についてロードマップを策定しました。



*RE100: 事業活動によって生じる環境負荷を低減させるために設立された国際イニシアチブのひとつ。事業運営に必要なエネルギーを100%、再生可能エネルギーで賄うことを目標とする。

2030年に向けた投資

ロードマップに沿い、カーボンニュートラルに向けた取り組みについて約700億円の投資を見込んでいます。

投資項目	2030年に向けた投資累計額	実施内容
研究開発	約 300 億円	<ul style="list-style-type: none"> 次世代型給湯機の製品開発 (ヒートポンプ給湯機・水素燃焼機器 他) 先行技術開発 (産学連携・公募事業の活用)
設備投資	約 400 億円	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ・創エネ設備の導入 使用エネルギーのカーボンニュートラル化 (再エネ電力への切り替え, カーボンニュートラルガス活用 他) 物流の最適化
合計	約 700 億円	

「カーボンニュートラル実現に向けた取り組み」の詳細は、下記 URL よりご確認ください。

https://www.noritz.co.jp/company/news/assets/NRcarbon_2.pdf